

サラリーマン川柳コンクール

「脳トレをやるなら先に 脂肪トレ」。第一生命保険は5日、恒例の「サラリーマン川柳コンクール」の入選作100編を発表した。「ハンカチ王子」など2006年に話題となった言葉をちりばめながら、職場や家庭をコミカルに表現した作品が目立った。

「ハンカチ王子」早実高の斎藤佑樹投手の人気を反映し「ハンカチで ヨン様卒業 ぼくの妻」「ファミレスで おしぼり王子に なる上司」などが入選。トリノ五輪金メダリストでプロスケイター荒川静香さんの演技にちなみ「イナバウアー 一発芸で 腰痛め」といった作品も。

メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に関連し「俺だって 診断結果は チョイ悪だ」や、「そのすきま 席ゆずられても すわれない」など太りすぎを気にしながらも冗談にする余裕も。任天堂の携帯ゲーム機の脳を鍛えるとされる人気ソフトをテーマに「脳年齢 年金すでに もらえます」と自虐的な作品も。

夫婦関係では、高校の未履修問題にからんで「新妻は 炊事と掃除 未履修で」と妻の前では言えない本音をぶつけた。「妻・子・俺 格差社会は 我が家にも」と家庭での地位が低いお父さんの哀愁が漂う作品もあった。

また、がけで動けなくなった犬が消防隊員に救出されたニュースに関連し「犬はいい 崖っぷちでも 助けられ」、冥王星が惑星から格下げされたことを受け「冥王星 何だか他人と 思えない」など、ニュースと自分の境遇を重ね合わせた作品も選ばれた。

サラリーマン川柳は20回目で、全国から2万3179作品の応募があった。